

もりきた未来シンポジウム



生徒、保護者、卒業生ゲストが「もりきた」の未来を思い描く

令和7年4月から県立守山北高校「もりきた」でスタートする新学科「みらい共創科」に向けたシンポジウムが開催されました。県内出身の世津田 スンさん(イラスト作家)の講演の後、ディスカッションでは伴野 友彦さん(株式会社COLOR)、杉本 聡さん(同窓会会長)など卒業生、保護者、在校生の代表が「もりきた」の未来を話し合いました。

7月18日 | 市民ホール 大ホール

守山幼稚園5歳児 あまが池の生き物観察



「碧いびわ湖」の根木ちゃん先生のもとあまが池の自然体験を楽しむ

園児たちは、ライフジャケットの着用方法や川遊びで気をつけることについて学んだあと、カワニナやザリガニなど、その日あまが池(園の前の吉川川)で捕れたばかりの生き物を観察。頭を寄せ合って生き物が入った水槽を覗き込み、「かわいい」「不思議」などと声をあげたり、根木ちゃん先生に生き物について質問したりしながら、身近な自然に触れる体験を楽しみました。

7月16日 | 守山幼稚園

平和のよろこび展



戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える遺品展やシベリア抑留関係展など

戦争の悲惨さ、残酷さを伝え、平和の尊さを次世代へ語り継いでいくために毎年開催されています。戦争を物語る遺品展や守山空襲を物語るパネル展のほか、特別企画展として宇野 宗佑氏のシベリア抑留を学ぶコーナーをはじめとする関係展示や、広島市の高校生と被爆者の共同制作による「原爆の絵」の展示などが行われました。

7月26日～31日 | 市役所 多目的ホール

スポーツ少年団 夏の全国大会出場の激励会



市長や本部長などが激励「がんばるぞー」団員たち誓い

本市から全国大会に出場を決めた、市スポーツ少年団の選手の激励会が行われました。全国大会の切符を手にしたのは物部少年野球団(軟式野球)、守山剣道会、守山錬心館(剣道)。森中市長やスポーツ少年団 西澤 功雄本部長の激励を受けた団員たちは、全員で「がんばるぞー」と拳を振り上げて全力を出し切ることを誓いました。

7月22日 | 市役所

守山市の人口

令和6年7月31日現在
(前月比)

人口	85,808 (+ 71)
男	42,212 (+ 36)
女	43,596 (+ 35)
世帯数	35,273 (+ 89)

会)のテレビ中継を見ていると、バックネット裏にユニフォームを着た子どもたちが映っているのに気付いた人もいると思う▼息子のチームがこのドリームシートに当選し、観戦に行くことになった。バットにボールが当たる音、ホームベースのクロスプレイなど、グラウンドに一番近い場所での臨場感を体感することができる▼この猛暑の中、一番大変なのは、試合をしている選手だが、観戦する方もなかなか大変だ。テレビに映り込む特等席で、あのチームの観戦マナーはよかったですと言われるように、気を引き締めて行っておいでと送り出そうと思う▼そして、野球少年にとって夢の甲子園での観戦、行き帰りの道中やお土産を買ったことも含めて、子どもたちにとって夏休みのいい思い出になることを願っている。(下)



夏の風物詩・甲子園の全国高等学校野球選手権大会